

Kinari

きらり

vol.
19

2024.04

産科・婦人科医の

知っておいて
ほしいおはなし



このコラムを読んでいただいている妊婦とその家族の皆様は、生まれてくるお子さんを楽しみに過ごしておられると思います。

出産に伴う危険性

妊婦さんのからだは、妊娠中、一日一日変化していきます。おなかが大きくなって動きづらくなるなど大変なことも多いと思いますが、ご自身の体の変化を観察して、それを楽しんで過ごしていただければと思います。妊娠出産は希望に満ちたものであり、我々産婦人科医はそんな人生の一大イベントをお手伝いできることを何よりの喜びに感じて仕事をしています。ですが、今日はそのような素晴らしい出

お産のセーフティネットのはなし

産の少し怖い側面をお話ししようと思えます。出産に伴う危険性の話です。

府内10箇所の指定病院

大阪府には、最重症妊産婦受け入れ施設に指定された病院が10か所あり、大阪急性期・総合医療センターはその中のひとつです。最重症妊産婦とは、妊娠中あるいは出産の際に何らかの異常をきたして、集中的な治療が必要となった妊婦さんのことです。当センターでは、院内で出産された方だけでなく、他の産科医院や病院で出産された方でも重症となった場合に救急車での受け入れを行い、救急診療科や麻酔科、場合によっては他の診療科の協力を得て治療にあたる体制をとっています。

最重症妊産婦の

受け入れ施設として

出産の際に妊婦さんが危険な状態になる最大の原因は出血です。大阪府下では、毎年だいたい350人から450人の妊婦さんが最重症として治療されていますが、そのうちの約80%が分娩時の出血によるものです。妊婦さんの体は、妊娠していない時に比べて

出血に耐えられるようになっていきますが、それを越えて、一気に多量の出血となることがあります。そんな時は、直ちに輸血を始めると同時に、出血の原因を突き止めて治療を行う必要があります。それができるためには、産婦人科医だけでなく、様々な科の医師、助産師、看護師が短時間に協力して治療を行うことが必要であり、そのような体制を整えているのが、最重症妊産婦受け入れ施設なのです。

安全なお産のために 150分娩に1回

妊娠分娩は病気とは言えませんが、多くの場合は、特に医学的な介入を行わずに元気な赤ちゃんが誕生します。しかし、いったん何かが起こるとたちまち赤ちゃんの命だけでなくお母さんの命までが危険にさらされる状態となってしまうことがあります。このようなことがおこる確率は約150分娩に1回です。多くの場合は、あらかじめ予測することは困難ですので、当センターでは常にそのような状態に備えて分娩を取り扱っています。むやみに怖がる必要はありませんが、危険性について正しく知ること、生活を規則正しくしたり、節制を心がけていただくことが、良いお産のためには重要です。

健診と検診のちがい

健診は、健康診断または健康調査を略したもので、「健康状態を調べる」ために行う診察や検査で一次予防（病気になるないようにする）が主な目的です。体の全体的なチェックを行いません。大人では会社などで行う定期健診や、病院で行う妊婦健診などがあり、子どもでは1か月児健診、乳児期

健康状態を調べる目的

健診と検診はどちらも「けんしん」と読みます。似ている言葉ですが目的や内容が少し違うことをご存じですか？



健診（3から4か月頃）及び「9から11か月頃」、1歳6か月児健診、3歳児健診などがそうです。これまでも母子保健法によって1歳6か月児健診と3歳児健診が義務付けられていましたが、国（こども家庭庁）の母子保健医療対策総合支援事業（令和5年12月28日付）により「1か月児」及び「5歳児」に対する健診の費用を助成することで出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制を整備することになりました。

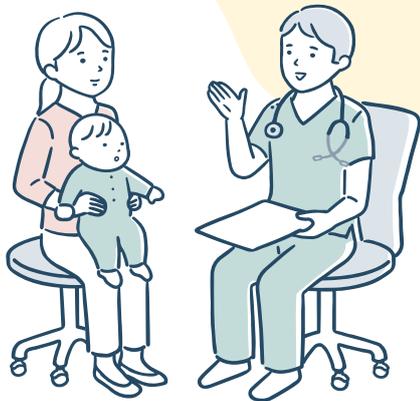
5歳児健診の実施

全国で5歳児健診が拡がりつつありますが、5歳児では身体の異常に加えて、発達障がい、言語発達達の遅れ等についても健診の重要ポイントになっています。発達障がい（疑いを含む）と判定された幼児については、就学前までに適切に療育につなげることが大切です。5歳児健診により学童期の不登校発生数が減少したという研究結果もあるそうです。

病気の早期発見が目的

一方、検診は、「特定の病気を早期に発見し早期に治療する」ために行う診察や検査で、二次予防（病気になっていない人を早く見つけ悪い結果にならないように対応する）が主な目的となります。大人ではがん検診（胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がんなど）、歯科検診など、子どもでは例えば学校心臓検診や尿検査などがそうです。

学校検診は、学校保健安全法により定められていて、学校における児童生徒等と職員との健康の保持増進、保健管理、安全管理に必要なことが含まれています。次回、学校心臓検診について見ていくことにしましょう。



産科・小児科(南館)

患者さんとの
面会方法が
変更になりました

患者さんへの感染予防のため、お子様の病棟への入室はご遠慮いただいております。ご理解・ご協力をお願いします。

	面会時間	面会受付	
産科・小児科 (南館)	15:00 ~ 19:00	面会カードを記入下さい 産科：4階エレベーター前 小児科：5階エレベーター前	面会カードを記入いただき、インターフォンでお知らせください。 面会カードをナースステーションへお渡しください。面会シールをお渡します。
NICU・GCU (南館4階)	面会を制限しております 直接お問い合わせください		



30分以内



不織布マスク



手指消毒



飲食禁止

夜間・休日の施錠について

平日 18:00 から翌朝 7:30 まで、土日祝日は、終日施錠しています。御用の際は、北出口・南出口よりインターホンで守衛にお知らせください。